

## 第4章 保険税の徴収の適正な実施

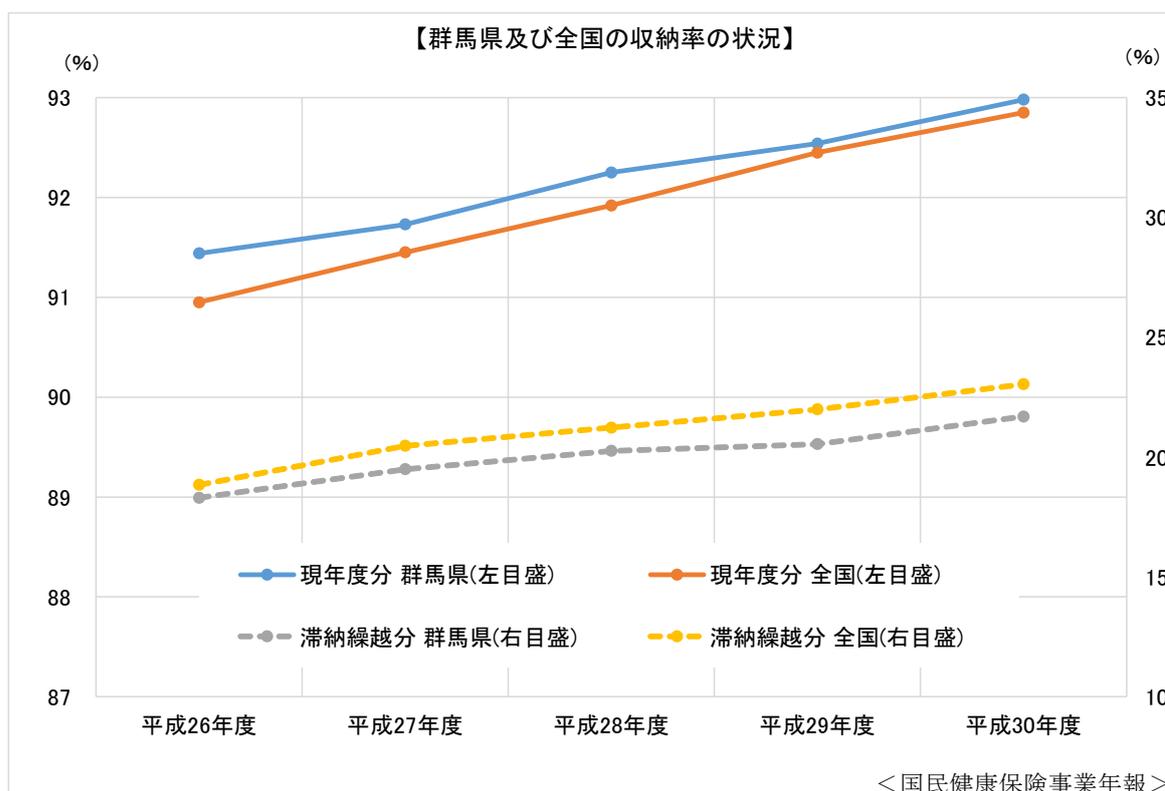
### 第1節 国民健康保険税収納の現状

#### 1 保険税収納率の状況

##### (1) 本県及び全国の収納率の推移

本県における保険税の現年度分の収納率は近年上昇を続け、全国平均を上回っている。

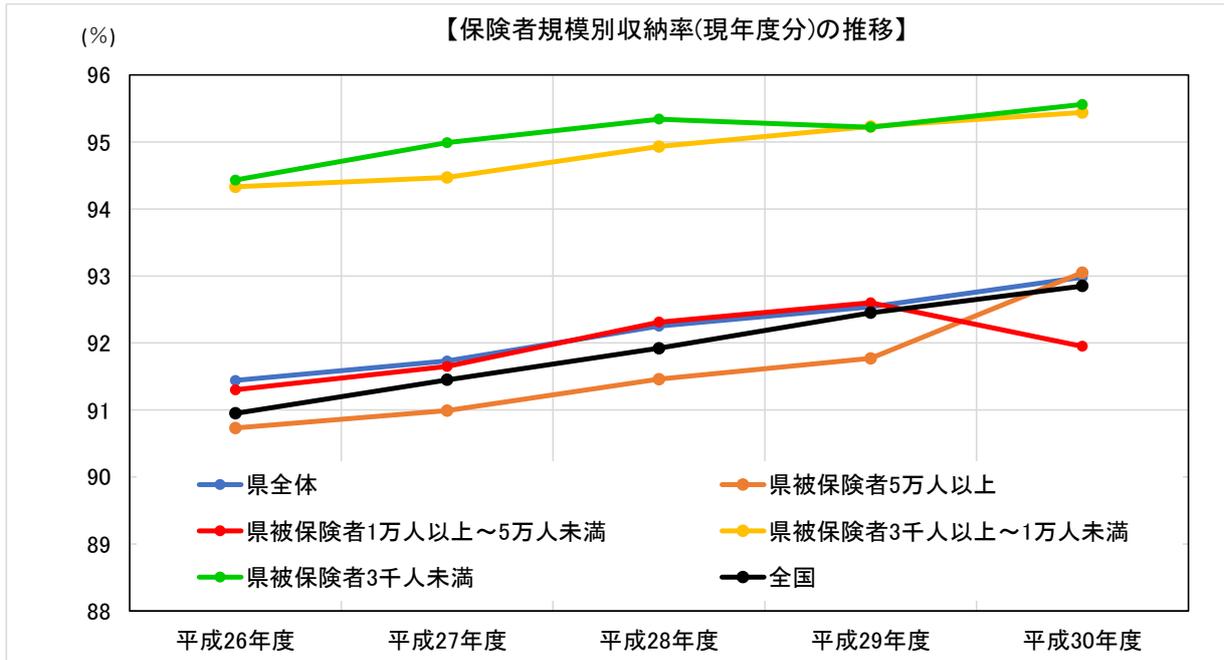
また、滞納繰越分の収納率も毎年上昇している。



##### (2) 県内市町村の収納率の推移

保険税の現年度分の収納率は保険者の規模が大きくなるほど低下する傾向にあるが、県内を市町村別に見ると市町村ごとの差が大きく、最上位と最下位では18.54ポイント（平成30年度）の差が生じている。

また、滞納繰越分の収納率は、保険者の規模に関係なく市町村ごとに差が生じている。



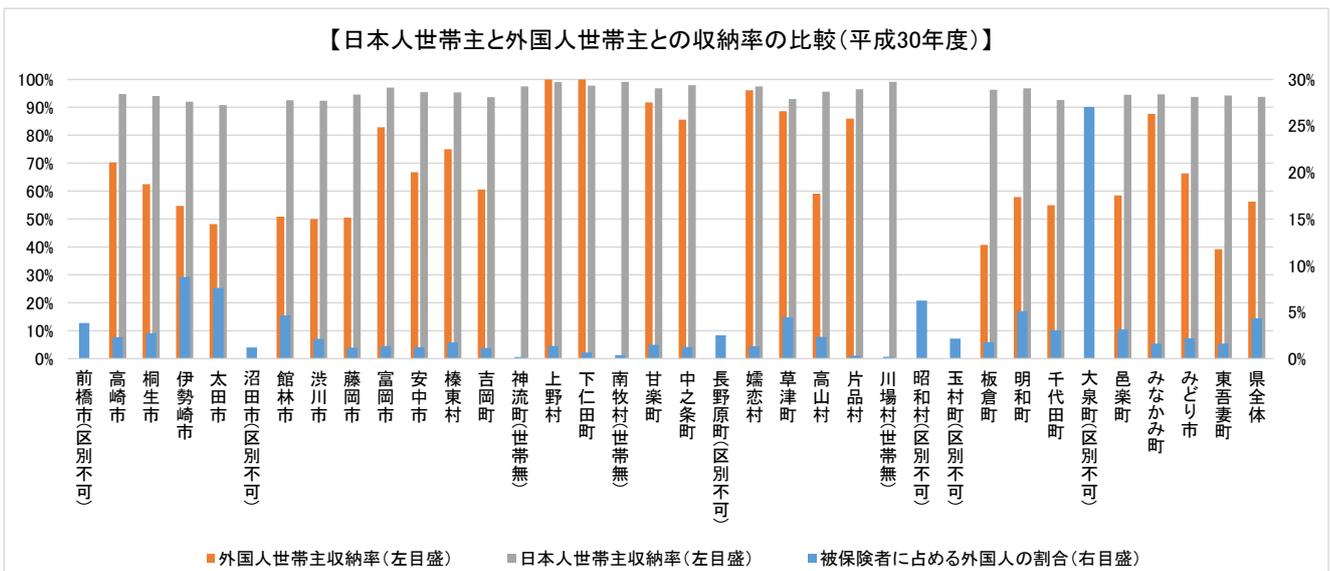
< 国民健康保険事業年報 >

### (3) 日本人世帯主と外国人世帯主の収納率の比較

県内の国保における日本人世帯主と外国人世帯主の収納率の差については、市町村ごとの差があるものの、外国人世帯主の収納率が低い傾向が見られる(県独自調査)。

ただし、県内の被保険者に占める外国人の割合について市町村ごとに差異があることや、日本人世帯主と外国人世帯主の区分が不可である市町村があることに留意が必要である。このことについては、国による全国統一基準による調査を行い、実態を正確に把握することが望まれる。

外国人世帯主の収納率については、市町村ごとに対策を行っている(外国語表記の催告書、転出入時の迅速な窓口対応等)。



< 群馬県国保援護課調べ >

## 第 2 節 国民健康保険税収納対策

保険税の収納は、国保財政の安定化及び被保険者間の負担の公平性確保の観点から重要な課題である。

県及び市町村、群馬県国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」という。）は、次の対策を講じることにより保険税の収納率向上に努めるものとする。

### 1 市町村の収納率目標

#### (1) 現年度分

保険税の現年度分の収納率は、保険者の規模が大きくなるほど低下する傾向にあるため、被保険者数による保険者規模別に、次のとおり収納率目標（現年度分）を設定する。

#### 【保険者規模別の収納率目標】

保険者規模別区分(全被保険者数)	収納率目標(現年度分)
5万人以上	91.0%以上
1万人以上～5万人未満	92.0%以上
3千人以上～1万人未満	95.0%以上
3千人未満	95.0%以上

#### (2) 滞納繰越分

保険税の滞納繰越分の収納率は、保険者規模に関係なく市町村ごとに差が生じていることから、共通の収納率目標は設定せず、各市町村の前年度収納率を上回ることを目標として取り組むこととする。

### 2 市町村における収納対策の強化

#### (1) 収納不足の要因分析

保険税の収納率が低く、収納不足が生じている市町村は、収納不足についての要因分析を必ず行う。

#### (2) 収納対策の支援

県及び国保連合会は、市町村の収納率向上及び収納率目標の達成のため、次の支援を行う。

技術支援		財政支援
総体的支援	個別支援	
○収納対策研修 【県・国保連合会】 ○国保研究協議会 【国保連合会】	○技術的助言・勧告 【県】 ○収納率向上アドバイザー派遣 【県・国保連合会】 ○市町村税徴収ヒアリング 【県】	○保険給付費等交付金 (特別交付金)【県】